

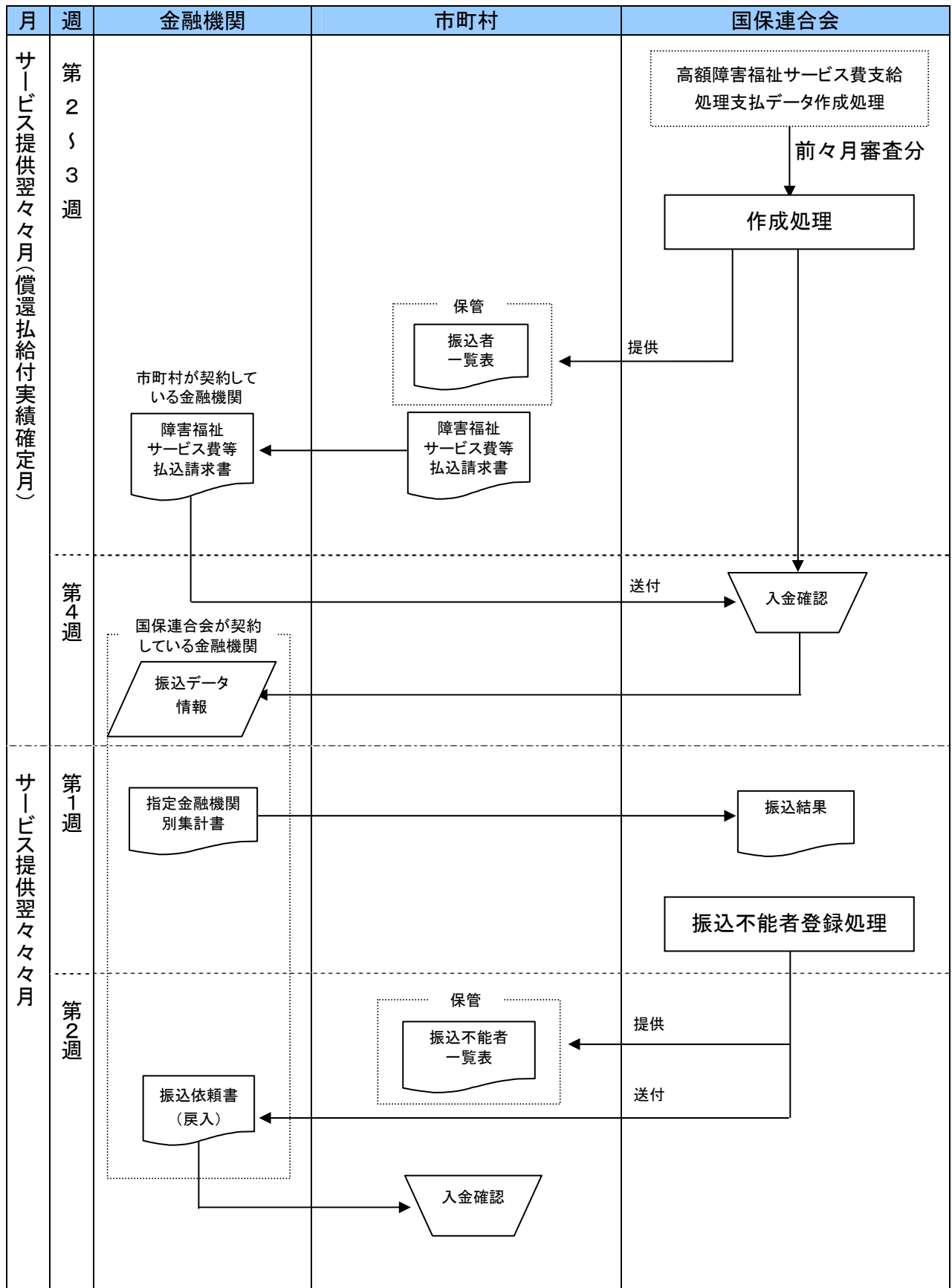
各種支払支援処理情報受け渡し概要

(2) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応なし)

市町村	国保連合会
<p>3. 市町村は、振込者一覧表を保管する。</p> <p>4. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用し、国保連合会への振込を行う。</p> <p>7. 市町村は、振込不能者一覧表を保管する。</p> <p>9. 市町村は、振込不能者分の金額の入金確認を行う。</p>	<p>1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費支給処理で作成された支払データから、振込データ情報、指定金融機関別集計書、振込者一覧表(PDF)、障害福祉サービス費等払込請求書(帳票)を作成する。</p> <p>2. 国保連合会は、振込者一覧表、障害福祉サービス費等払込請求書を市町村に提供する。</p> <p>5. 国保連合会は、入金を確認して、振込データ情報、指定金融機関別集計書を金融機関に提供し、金融機関から振込結果を受け取り、振込不能者の登録を行う。</p> <p>6. 国保連合会は、振込不能者一覧表、振込依頼書(戻入)を作成し、振込不能者一覧表を市町村に提供する。</p> <p>8. 国保連合会は、振込依頼書(戻入)を金融機関に送付して、市町村へ振込不能者分の金額の戻入を行う。</p>
備考	

各種支払支援処理情報受け渡し概要図

(2) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応なし)



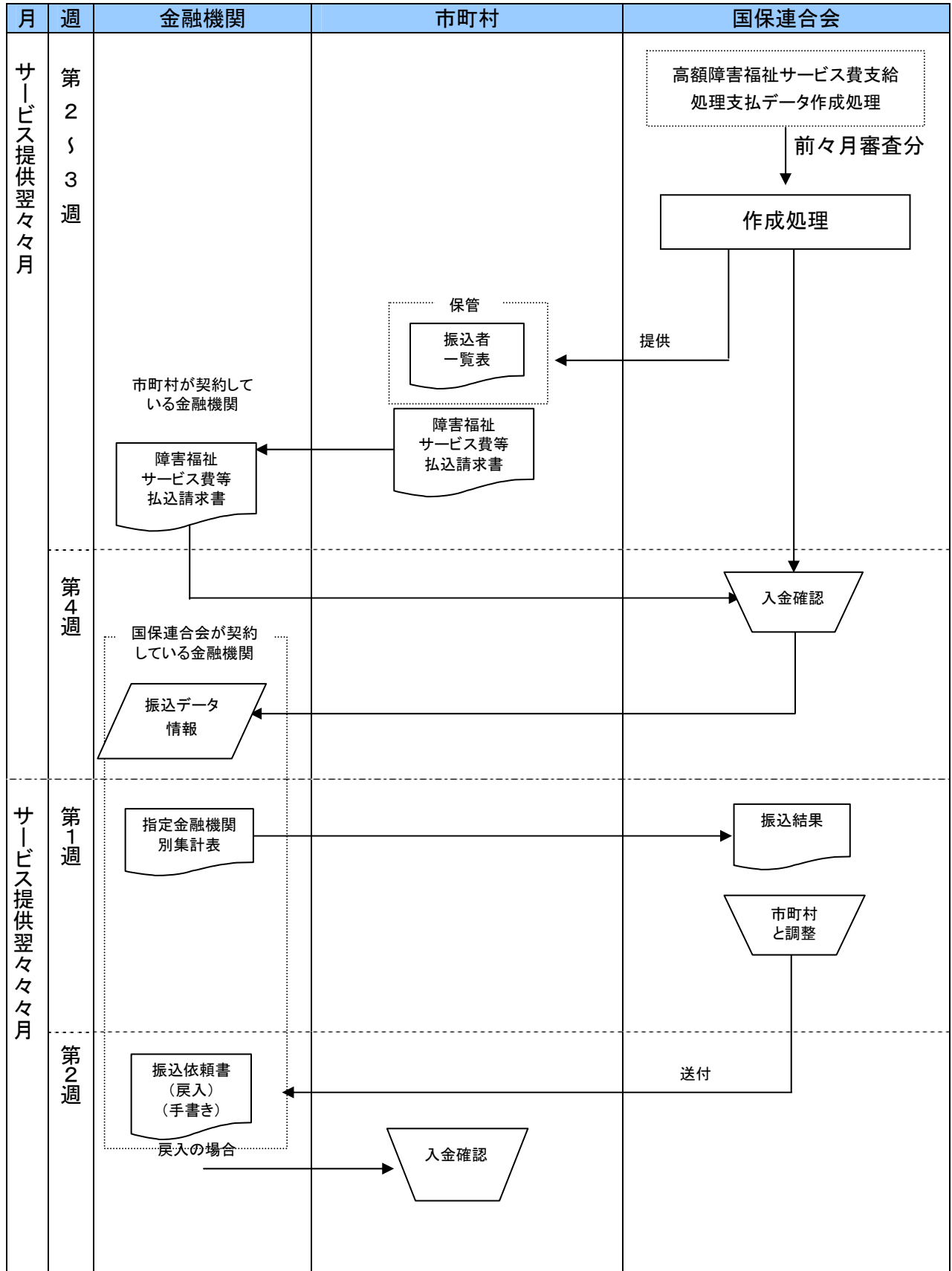
各種支払支援処理情報受け渡し概要

(3) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応あり)

市町村	国保連合会
<p>3. 市町村は、振込者一覧表を保管する。</p> <p>4. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用し、国保連合会への振込を行う。</p> <p>9. 振込不能者分の金額の入金確認を行う。</p>	<p>1. 国保連合会は、高額障害福祉サービス費支給処理で作成された支払データから、振込データ情報、指定金融機関別集計書、振込者一覧表(PDF)、障害福祉サービス費等払込請求書(帳票)を作成する。</p> <p>2. 国保連合会は、振込者一覧表、障害福祉サービス費等払込請求書を市町村に提供する。</p> <p>5. 入金を確認して、振込データ情報、指定金融機関別集計書を金融機関に送付する。</p> <p>6. 金融機関から振込結果を受け取る。</p> <p>7. 市町村との調整を行う。</p> <p>8. 振込不能者への再振込または振込不能者分の金額の市町村への戻入を行うために、振込依頼書(戻入)を作成して、金融機関に送付する。</p>
<p>備考</p>	

各種支払支援処理情報受け渡し概要図

(3) 国保連合会が受給者への振込までを行う場合(支払不能時の対応あり)



4. 2 インタフェース一覧

4. 2. 1 各種支払支援処理情報（高額障害福祉サービス費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FJ11	振込データ情報 (※1)	金融機関へ提出する振込情報(各種支払支援処理を委託している場合に、市町村単位の振込データ情報作成までを行う)	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	FJA1	障害福祉サービス費等 払込請求書 (※2)	市町村が国保連合会に払い込みをする金額等の払込請求書	国保連合会 → 市町村	月次	帳票
(3)	FJB1	振込者一覧表	支払支援処理の対象となった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(4)	FJC1	振込不能者一覧表	支払支援処理の対象であるが、振込が正常に終了しなかった振込先の一覧	国保連合会 → 市町村	随時	PDF

※1 振込データ情報は全銀協フォーマットのため、以下の仕様となる。

- ・コントロールレコードは付加されない
- ・固定長レコードとなる

※2 市町村からの申し出により請求情報の合算を行う場合、合併後の市町村に合併前の市町村分を合算する。

4. 2. 2 各種支払支援処理情報（高額障害児施設給付費）（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	CD11	振込データ情報 (※1)	金融機関へ提出する振込情報(各種支払支援処理を委託している場合に、政令市等単位の振込データ情報作成までを行う)	国保連合会 → 政令市等	月次	伝送
(2)	CDA1	障害児施設給付費等 払込請求書 (※2)	政令市等が国保連合会に払い込みをする金額等の払込請求書	国保連合会 → 政令市等	月次	帳票
(3)	CDB1	振込者一覧表	支払支援処理の対象となった振込先の一覧	国保連合会 → 政令市等	月次	PDF
(4)	CDC1	振込不能者一覧表	支払支援処理の対象であるが、振込が正常に終了しなかった振込先の一覧	国保連合会 → 政令市等	随時	PDF

※1 振込データ情報は全銀協フォーマットのため、以下の仕様となる。

- ・コントロールレコードは付加されない
- ・固定長レコードとなる

※2 市町村からの申し出により請求情報の合算を行う場合、合併後の市町村に合併前の市町村分を合算する。

4. 3 項目説明

4. 3. 1 各種支払支援処理情報（高額障害福祉サービス費）（出力情報）

(1) 振込データ情報（FJ11）

① ヘッダレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	1……ヘッダレコード	
2	種別コード	コード値	2	21……総合振込	
3	コード区分	コード値	1	0……JIS	
4	振込依頼人コード	コード値	10	銀行が採番した振込依頼人識別のためのコード	
5	振込依頼人名	英数	40	カナ文字および英数字	
6	取組日	コード値	4	取組日(MMDD) 銀行営業日	
7	仕向銀行番号	コード値	4	取引銀行番号(統一金融機関番号)	
8	仕向銀行名	英数	15	取引銀行名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
9	仕向支店番号	コード値	3	取引支店番号(統一店番号)	
10	仕向支店名	英数	15	取引支店名(カナ文字および英数字)	任意 省略時はスペース
11	預金種目(依頼人)	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	任意 省略時はスペース
12	口座番号(依頼人)	コード値	7	振込依頼人の口座番号	任意 省略時はスペース
13	ダミー	英数	17	スペース	

② データレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	2……データレコード	
2	被仕向銀行番号	コード値	4	振込先銀行番号（統一金融機関番号）	
3	被仕向銀行名	英数	15	振込先銀行名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
4	被仕向支店番号	コード値	3	振込先支店番号（統一店番号）	
5	被仕向支店名	英数	15	振込先支店名（カナ文字および英数字）	任意 省略時は スペース
6	手形交換所番号	コード値	4	数字	任意 省略時は スペース
7	預金種目	コード値	1	1……普通預金 2……当座預金 9……その他	
8	口座番号	コード値	7	受取人の口座番号	
9	受取人名	英数	30	カナ文字および英数字	
10	振込金額	数値	10	数字	
11	新規コード	コード値	1	1……第1回振込分 2……変更分（被仕向銀行・支店、預金種目・口座番号） 0……その他	
12	顧客コード1	コード値	10	依頼人が定めた受取人識別のためのコード	任意 省略時は スペース
13	顧客コード2	コード値	10		
14	振込指定区分	コード値	1	7……テレ振込 8……文書振込	任意 省略時は スペース
15	識別表示	英数	1	「Y」またはスペース	
16	ダミー	英数	7	スペース	

③ トレーラレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	8……トレーラレコード	
2	合計件数	数値	6	データレコードの合計件数	
3	合計金額	数値	12	データレコードの合計金額	
4	ダミー	英数	101	スペース	

④ エンドレコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	備考
1	データ区分	コード値	1	9……エンドレコード	
2	ダミー	英数	119	スペース	

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

(2) 障害福祉サービス費等払込請求書 (FJA1) (帳票)

帳票出力情報であるため、項目を記載していません

(3) 振込者一覧表 (FJB1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

(4) 振込不能者一覧表 (FJC1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

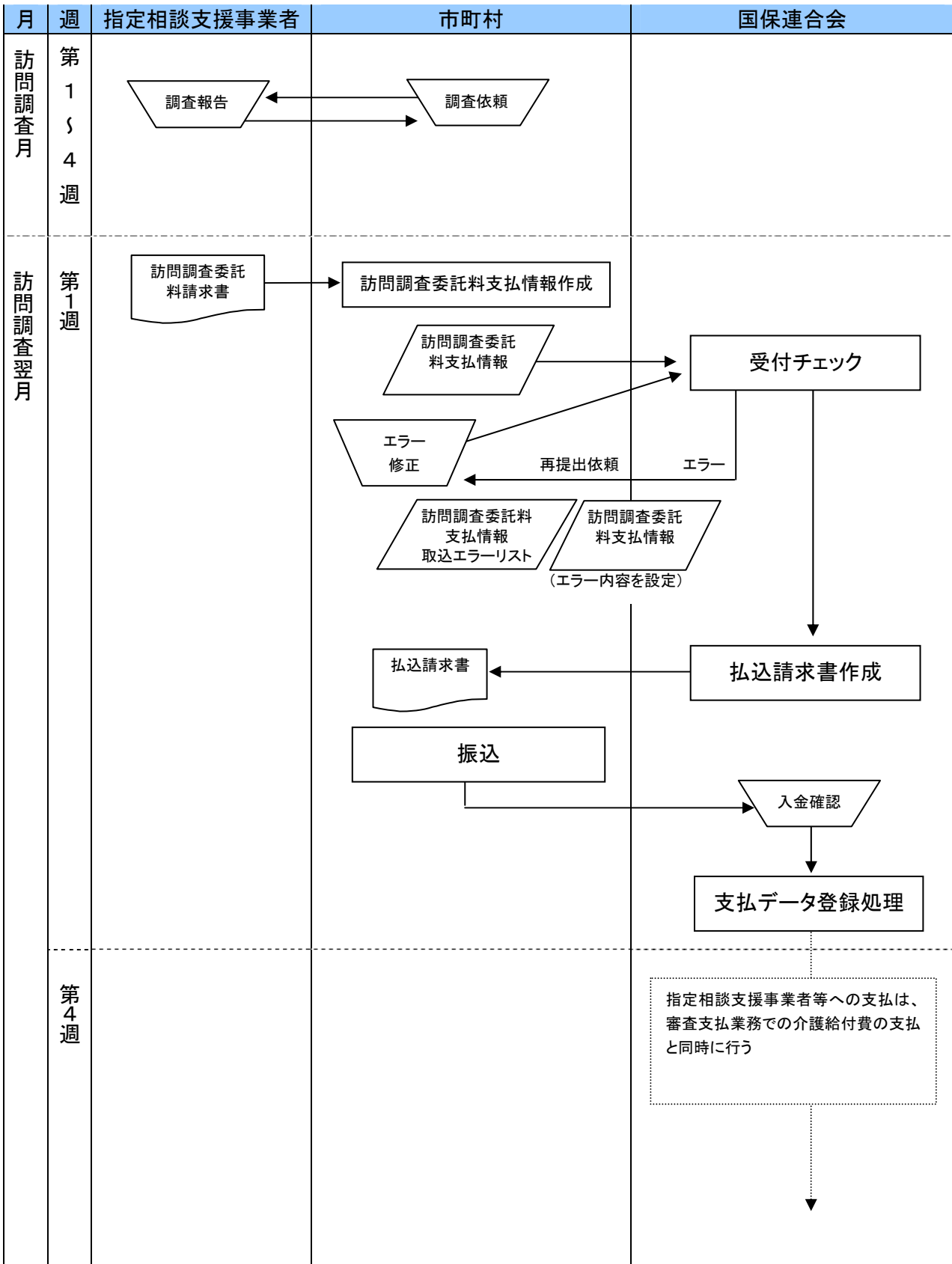
5 訪問調査委託料支払処理業務

5. 1 受け渡し概要図

5. 1. 1 訪問調査委託料支払処理情報受け渡し概要

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、訪問調査を指定相談支援事業者等に依頼し、訪問調査報告を指定相談支援事業者から受理する。</p> <p>2. 市町村は、訪問調査委託料請求書を指定相談支援事業者から受理する。</p> <p>3. 市町村は、訪問調査委託料支払情報を作成し、国保連合会に提出する。</p> <p>6. 市町村は、障害福祉サービス費等払込請求書を利用して、国保連合会に振込みを行う。</p>	<p>4. 国保連合会は、訪問調査委託料支払情報を受付け、受付チェックを行う。エラーがあれば取込エラーリストとエラー内容を設定した訪問調査委託料支払情報を提供し、再提出を依頼する。</p> <p>5. 国保連合会は、訪問調査委託料支払情報を基に障害福祉サービス費等払込請求書を作成し、市町村に提供する。</p> <p>7. 国保連合会は、訪問調査委託料の入金確認を行い、支払データを登録する。</p>
<p>備考</p>	

訪問調査委託料支払処理情報受け渡し概要図



5. 2 インタフェース一覧

5. 2. 1 訪問調査委託料支払情報（入力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FK11	訪問調査委託料支払情報	市町村が決定した訪問調査委託料の支払情報	市町村 ⇔ 国保連合会	月次	伝送

5. 2. 2 取込エラーリスト（出力情報）

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	FLA1	訪問調査委託料支払情報取込エラーリスト	訪問調査委託料支払情報取込時のエラーリスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF

5. 3 項目説明

5. 3. 1 訪問調査委託料支払情報（FK11）（入力情報）

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	1	レコード種別コードを設定する	◎	1(固定値)
3	証記載市町村番号	コード値	6	受給者証記載の市町村番号を設定する	◎	※C
4	市町村名	漢字	40	受給者証記載の市町村番号に対応する市町村名を設定する	◎	
5	作成年月日	コード値	8	情報を作成した年月日(西暦年月日(YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y

※1: 必須入力 ◎: 必須項目、○: 請求内容により必要、△: 任意設定、空白: 不要

※B: インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 3.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 明細レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	レコード種別コード	コード値	1	レコード種別コードを設定する	◎	2(固定値)
3	事業所番号	コード値	10	事業所番号を設定する	◎	※C
4	事業所名(漢字)	漢字	40	事業所名(漢字)を設定する	◎	
5	受給者証番号	英数	10	受給者証番号を設定する	◎	※C ※2
6	調査依頼年月日	コード値	8	訪問調査の依頼年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
7	調査実施年月日	コード値	8	訪問調査の実施年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
8	調査票受領年月日	コード値	8	訪問調査票の受領年月日(西暦年月日 (YYYYMMDD))を設定する	◎	※Y
9	請求額	数値	8	請求額を設定する	◎	
10	消費税額	数値	8	請求額の消費税額を設定する	◎	
11	支払額	数値	8	支払額を設定する	◎	
12	消費税額	数値	8	支払額の消費税額を設定する	◎	
13	備考	漢字	40	請求額修正理由等を設定する	○	
14	受付エラー内容	漢字	40	国保連合会の受付点検エラーとなった場 合、本項目にエラー内容を設定する		※3

※1: 必須入力 ◎: 必須項目、○: 請求内容により必要、△: 任意設定、空白: 不要

※2: 受給者証番号が設定できない場合(支給決定されていない)は任意の番号(一次判定ソフトで使
っている「申請番号」等)を設定すること。受給者証番号と重複しないように留意すること。

※3: 国保連合会の受付点検で「エラー」となった場合、本項目にエラー内容を設定し、市町村に提供す
る。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 Ⅲ. 市町村事務共同処理 5.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

5. 3. 2 訪問調査委託料支払情報取込エラーリスト (FLA1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

IV. 給付実績交換処理

1 給付実績交換処理業務

1. 1 受け渡し概要図

1. 1. 1 給付実績情報受け渡し概要

・市町村のみで保有している給付実績情報の国保連合会への新規登録及び更新(修正、取消)

市町村	国保連合会
<p>1 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>5 市町村は、給付実績更新結果情報を受理する。</p>	<p>2 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を受け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の新規登録及び更新(修正、取消)し、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(修正、取消)を行い、更新結果情報を市町村に提供する。</p>

備考

※1:障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合

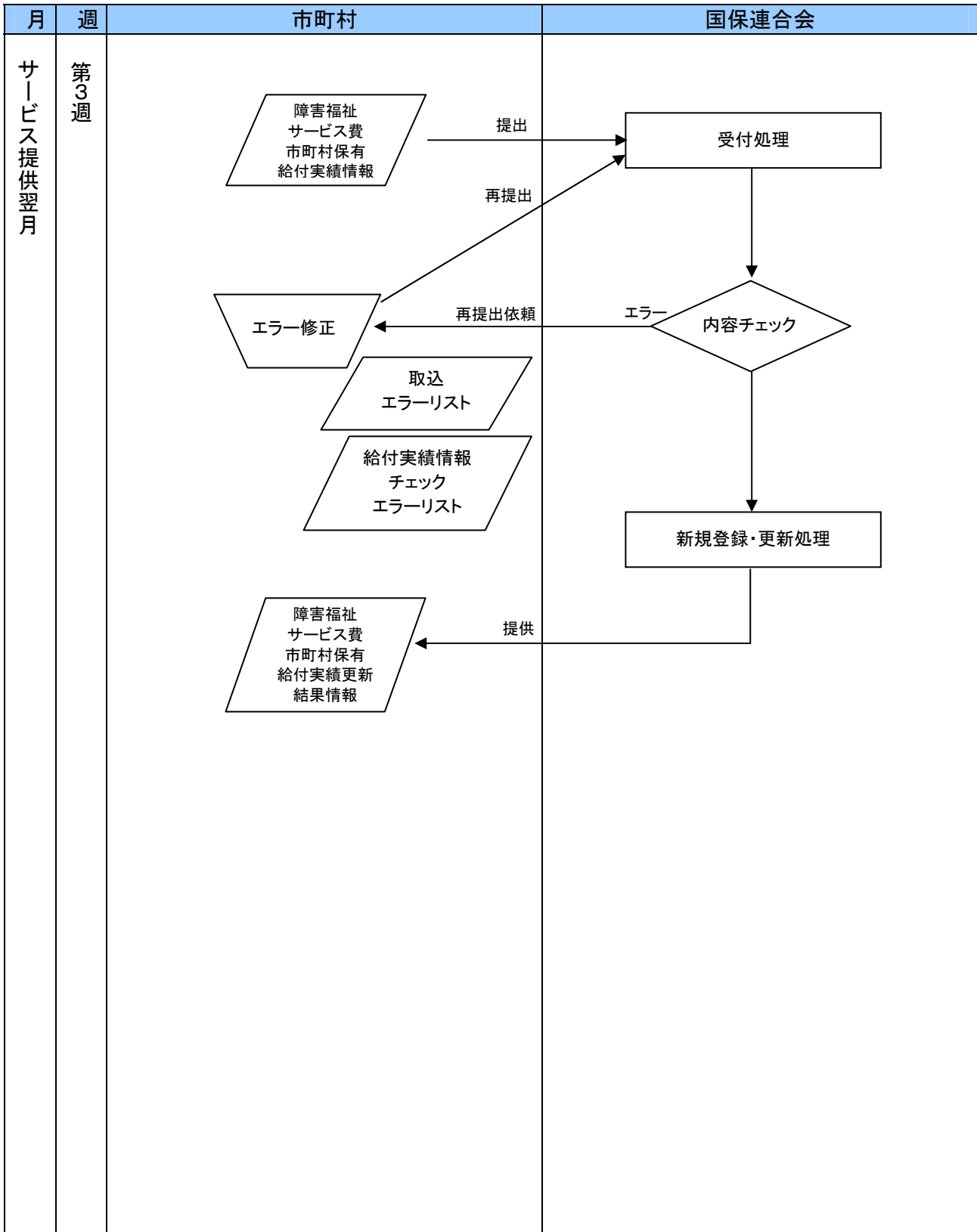
- ・新規登録時は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“1”(新規)にして提出する。
- ・修正の場合は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。
- ・取消の場合は、基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。

障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の場合

- ・修正の場合は、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。
- ・取消の場合は、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。

・市町村のみで保有している給付実績情報の国保連合会への新規登録及び更新(修正、取消)の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

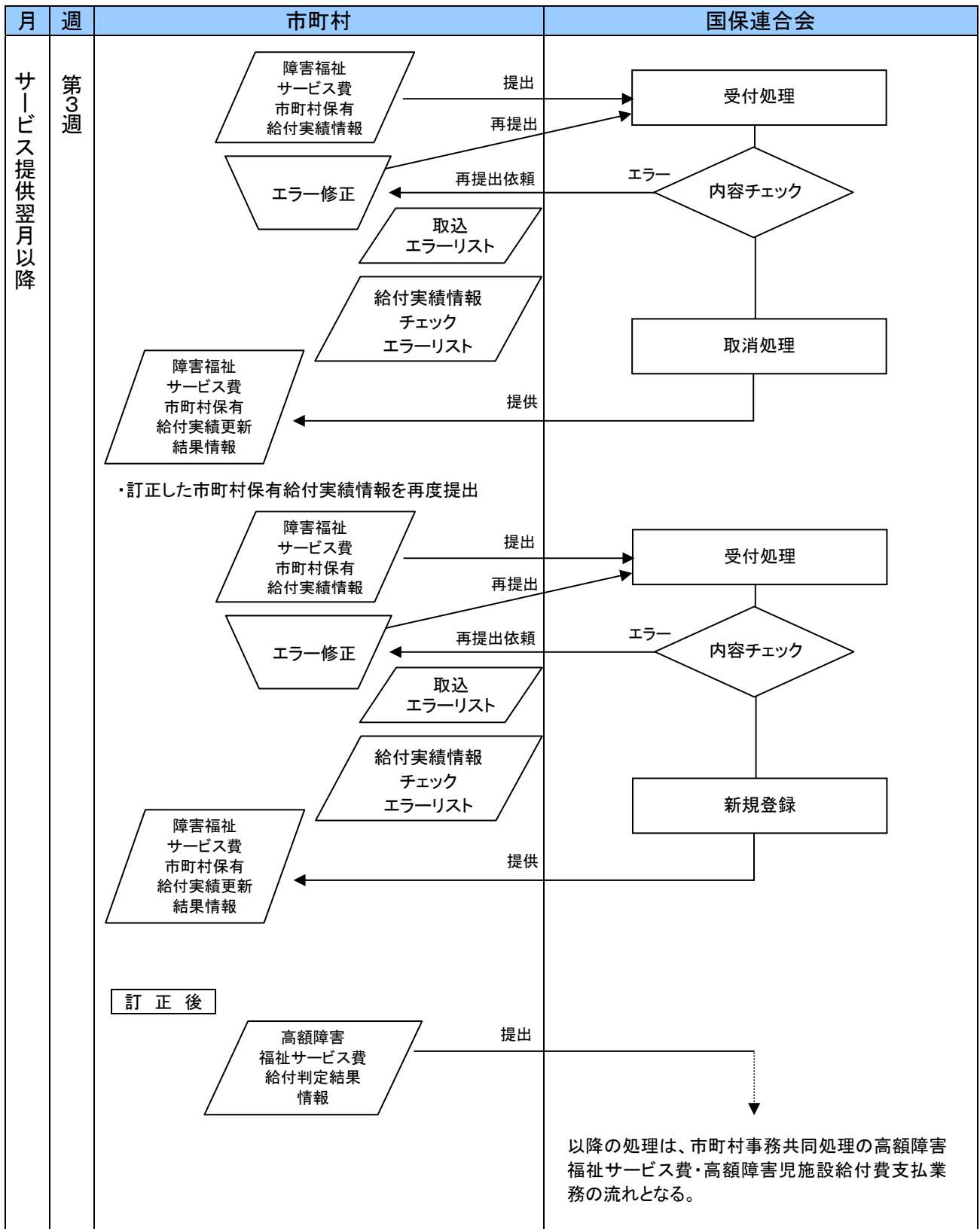


・高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費の訂正(支払情報を再度作成する場合)

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>5. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理し、訂正した障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※2)</p> <p>7. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。(以降、エラーが無くなるまで繰り返す)</p> <p>9. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理し、訂正分の高額障害福祉サービス費給付判定結果情報、高額障害児施設給付費給付判定結果情報を作成し、国保連合会に提出する。</p>	<p>2. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(取消)を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p> <p>6. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>8. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の新規登録を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p> <p>10. 以降の処理は、市町村事務共同処理の高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費支払業務の流れとなる。</p>
<p>備考</p> <p>※1: 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 また、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 <p>障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“3”(取消)にして提出する。 <p>※2: 基本情報レコードの給付実績情報作成区分コードを“1”(新規)にして提出する。</p>	

・高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費の訂正（支払情報を再度作成する場合）の給付実績
 情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

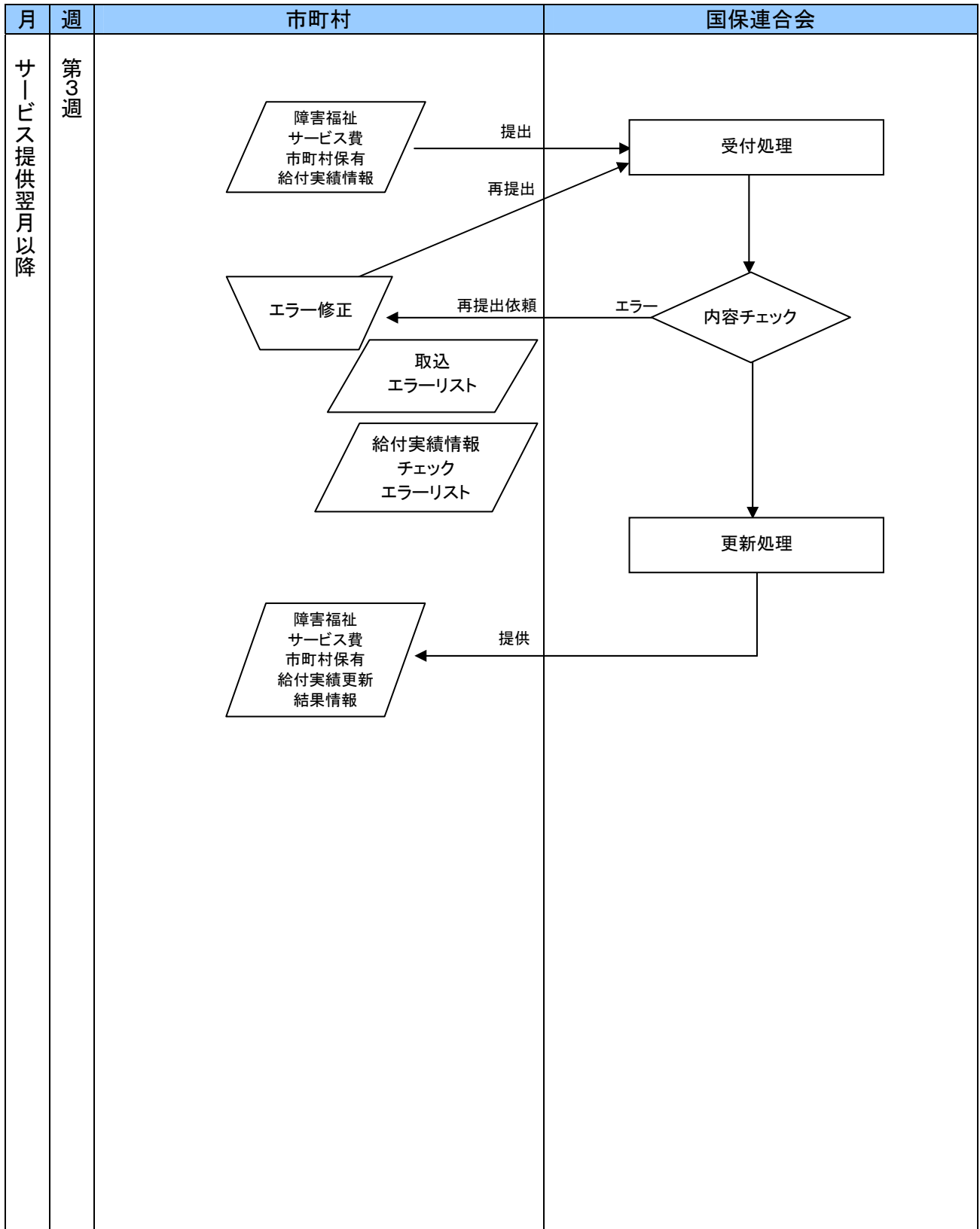


・償還払い分または高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費の訂正
 (給付実績の修正のみを行う場合)

市町村	国保連合会
<p>1. 市町村は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報又は、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を作成し、国保連合会に提出する。(※1)</p> <p>3. 市町村は、国保連合会から再提出依頼により、エラー内容を修正し、国保連合会へ再提出を行う。</p> <p>5. 市町村は、給付実績更新結果情報を受理する。</p>	<p>2. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報を受付け、内容チェックを行う。エラーがあれば市町村に取込エラーリスト、給付実績情報チェックエラーリストを提供し、再提出を依頼する。</p> <p>4. 国保連合会は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報、障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の更新(修正)を行い、給付実績更新結果情報を市町村に提供する。</p>
<p>備考</p> <p>※1: 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本情報レコード、高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。 <p>障害児施設給付費都道府県等保有給付実績情報の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高額費支給レコードの給付実績情報作成区分コードを“2”(修正)にして提出する。 	

・償還払い分または高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費の訂正（給付実績の修正のみを行う場合）の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。

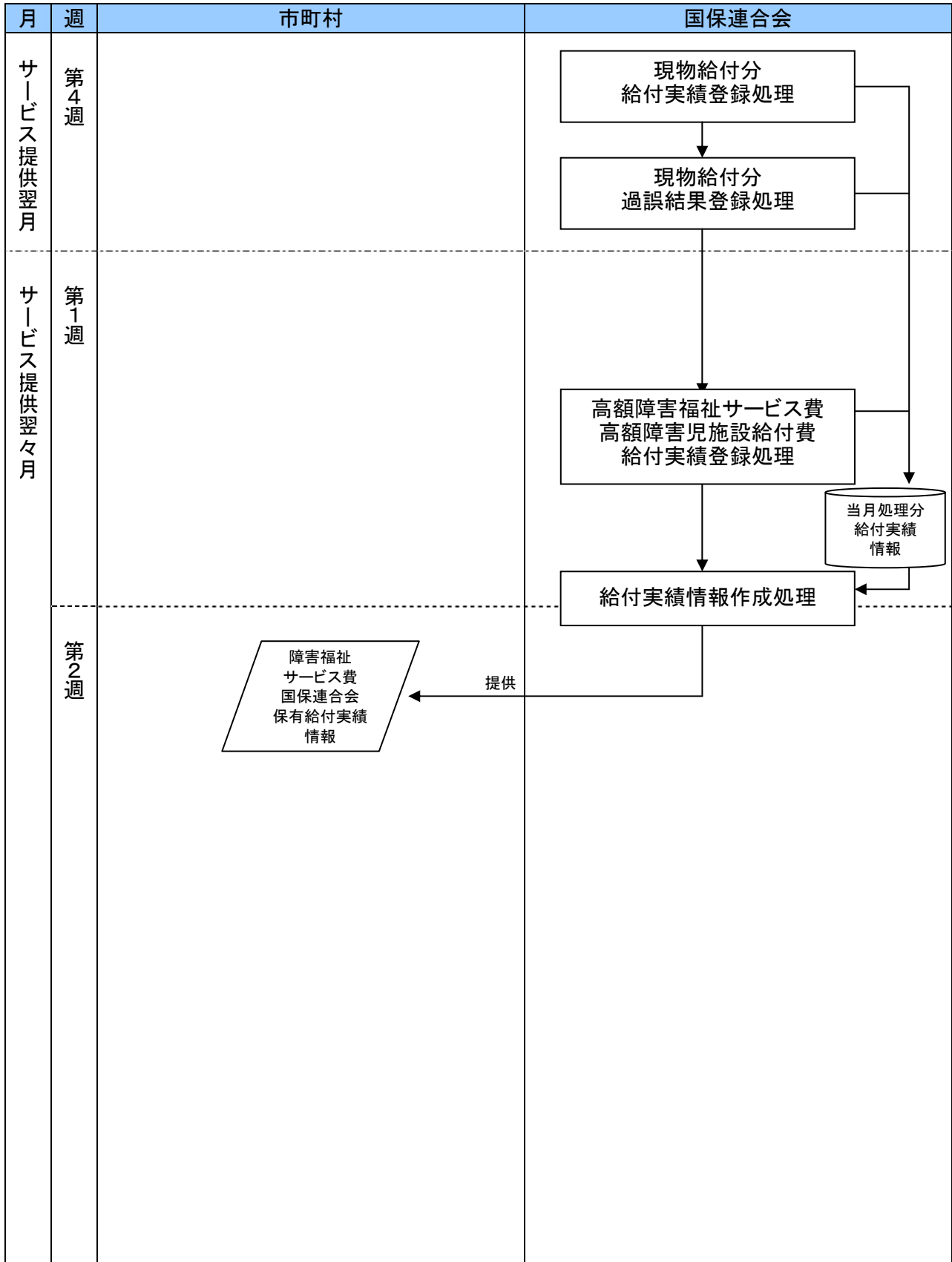


・国保連合会で保有している給付実績情報の市町村への提供

市町村	国保連合会
<p>5. 市町村は、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報、障害児施設給付費国保連合会保有給付実績情報を受理する。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現物給付分の給付実績情報を登録する。 (支払業務) 2. 現物給付の過誤の結果を登録する。 (支払業務) 3. 高額障害福祉サービス費・高額障害児施設給付費の給付実績を登録する。 (市町村事務共同処理) 4. 障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報、障害児施設給付費国保連合会保有給付実績情報を作成し、市町村に提供する。
備考	

・国保連合会で保有している給付実績の市町村への提供の給付実績情報受け渡し概要図

下記は、障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報での説明である。



1. 2 インタフェース一覧

1. 2. 1 給付実績交換情報(障害福祉サービス費)(入力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G111	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報	市町村で保有している障害福祉サービスの給付実績情報	市町村 → 国保連合会	月次	伝送

1. 2. 2 給付実績交換情報(障害児施設給付費)(入力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	D111	障害児施設給付費 都道府県等保有給付実績 情報	政令市等(政令市、児童相談所設置市)で保有している障害児施設給付の給付実績情報	政令市等 → 国保連合会	月次	伝送

1. 2. 3 給付実績交換情報(障害福祉サービス費)(出力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G121	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績 更新結果情報	市町村保有給付実績の更新結果情報	国保連合会 → 市町村	月次	伝送
(2)	G131	障害福祉サービス費 国保連合会保有給付実績 情報	国保連合会保有の障害福祉サービスの給付実績情報	国保連合会 → 市町村	依頼時	伝送

1. 2. 4 給付実績交換情報(障害児施設給付費)(出力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	D121	障害児施設給付費 都道府県等保有給付実績 更新結果情報	政令市等保有給付実績の更新結果情報	国保連合会 → 政令市等	月次	伝送
(2)	D131	障害児施設給付費 国保連合会保有給付実績 情報	国保連合会保有の障害児施設給付の給付実績情報	国保連合会 → 政令市等	依頼時	伝送

1. 2. 5 取込エラーリスト(出力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G2A1	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 取込エラーリスト	障害福祉サービス費市町村保有 給付実績情報取込時のエラーリス ト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	D2A1	障害児施設給付費 都道府県等保有給付実績 情報取込エラーリスト	障害児施設給付費都道府県等保 有給付実績情報取込時のエラーリス ト	国保連合会 → 政令市等	月次	PDF

1. 2. 6 給付実績情報チェックエラーリスト (出力情報)

項番	識別	情報名	内容	ルート	周期	媒体
(1)	G3A1	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 チェックエラーリスト	障害福祉サービス費市町村保有 給付実績情報チェック時のエラー リスト	国保連合会 → 市町村	月次	PDF
(2)	D3A1	障害児施設給付費 都道府県等保有給付実績 情報チェックエラーリスト	障害児施設給付費都道府県等保 有給付実績情報チェック時のエラ ーリスト	国保連合会 → 政令市等	月次	PDF

1. 3 項目説明

本節では、「インタフェース仕様書 共通編 1. 2. 2(2)レコードフォーマット」のデータレコードフォーマットにおいて“データ”として記載されている項目の各交換情報のインタフェースについて記載する。

なお、障害児施設給付に関するインタフェース項目は、インタフェース仕様書都道府県編を参照。

1. 3. 1 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報 (G111)

障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報 (G121)

障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報 (G131)

(1) レコード構成

各給付実績情報は以下のレコードの組み合わせにより構成される。

1 : 基本情報レコード

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(基本情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(基本情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(基本情報レコード)

2 : 日数情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(日数情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(日数情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(日数情報レコード)

3 : 明細情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(明細情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(明細情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(明細情報レコード)

4 : 集計情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(集計情報レコード)
- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH・CH)(集計情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(集計情報レコード)

5 : 契約情報レコード(複数レコード)

- ・介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(契約情報レコード)
- ・特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報(契約情報レコード)

6 : 高額費支給レコード

- ・高額障害福祉サービス費の支給額等情報

各交換情報識別番号とレコード構成、入力識別番号の対応は、以下の通りである。

項番	レコード名称	交換情報識別番号			
		障害福祉サービス			
		G111	G121	G131	
1	請求 明細書	基本情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
2		日数情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
3		明細情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
4		集計情報レコード	◎:J221	◎:J221	◎:J121、J131、J221
5		契約情報レコード	○:J221	○:J221	○:J121、J221
6	高額費支給レコード	○:FC11	○:FC11	○:FC11	

凡例:◎…必須レコード、○…実績内容により必要となるレコード、空白…不要なレコード
また、入力識別番号の内容は以下の通りである。

< 入力識別番号一覧 >

項番	区分	入力識別番号	情報名
1	障害 福祉 サー ビス	J121	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH, CH以外)
2		J131	介護給付費・訓練等給付費等明細書情報(GH, CH)
3		J221	特例介護給付費・特例訓練等給付費明細書情報
4		FC11	高額障害福祉サービス費情報

(2) レコード項目

① 基本情報レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
					J121	J131	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	01を設定する(基本情報レコード)	◎	◎	◎	
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	◎	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	◎	◎	1:現物 2:償還 ※4
6	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3
7	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	◎	※Y
8	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C
9	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C
10	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	◎	※C
11	助成自治体番号	コード値	6	助成自治体がある場合、市町村番号を設定する	○	○	○	※C
12	支給決定者氏名カナ	英数	25	支給決定者カナ氏名	△	△	△	
13	支給決定児童氏名カナ	英数	25	支給決定児童カナ氏名	△	△	△	
14	地域区分コード	コード値	2	地域区分コードを設定する	◎	◎	◎	※C
15	就労継続支援A型事業者 負担減免措置実施	コード値	1	1:無し 2:有り	◎			
16	利用者負担上限月額①	数値	6	利用者負担上限月額を設定する	◎	◎	◎	
17	就労継続支援A型減免 対象者	コード値	1	1:無し 2:有り	◎			
18	障害程度区分コード	英数	2	月の末日における障害程度区分コードを設定する		○		※C

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考	
						J121	J131	J221		
19	上限額管理事業所	指定事業所 番号	コード値	10	上限額管理事業所の事業所番号 を設定する	○	○	○	※C	
20		管理結果	コード値	1	上限額管理結果票の管理結果を 設定する	○	○	○	※5	
21		管理結果額	数値	5	上限額管理結果票の管理結果額 を設定する	○	○	○		
22	日中支援加算欄	指定事業所 番号	コード値	10	連絡調整を行った日中介護事業所 の事業所番号を設定する		○		※C	
23		当該事業所への通 所日数	数値	2	日中介護事業所への通所日数を 設定する		○			
24	請求額集計欄 合計	給付単位数	数値	9	単位数の合計を設定する	◎	◎	◎		
25		総費用額	数値	10	サービスの総費用額の合計を設定 する	◎	◎	◎		
26		上限月額調整(① ②の内少ない数)	数値	6	利用者負担上限月額と給付率に 基づく利用者負担額のうち少ない ほうの合計を設定する	◎	◎	◎		
27		A型減免	事業者 減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
28			減免後利用 者負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を 設定	○			
29		調整後利用者 負担額	数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○		
30		上限額管理後 利用者負担額	数値	6	上限額管理後利用者負担額	○	○	○		
31		決定利用者 負担額	数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎		
32		請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定	◎	◎	◎	
33			高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費を設定			○	
34			特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	
35			自治体助成分 請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	○	

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						J121	J131	J221	
36	特定障害者特別給付費(合計)	算定日額	数値	4	算定する日額を設定する	○			
37		日数	数値	2	算定する日数を設定する	○			
38		給付費請求額	数値	5	給付費請求額を設定する	○	○		
39		実費算定額	数値	6	実費算定額を設定する	○	○		
40	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
41	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:出力対象項目 ◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※4:市町村保有給付実績情報を国保連合会に提出する場合は、2:償還を設定する。

また、市町村で基準該当事業所の請求について受領委任払いの運用を行っている場合も
2:償還を設定する。

※5 “1”: 管理事業所で利用者負担額を充当したため、他事業所の利用者負担は発生しない。

“2”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額以下のため、調整事務は行わない。

“3”: 利用者負担額の合計額が、負担上限月額を超過するため、下記のとおり調整した。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換処理 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

② 日数情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力(※1)			備考	
					J121	J131	J221		
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B	
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2	
3	レコード種別コード	コード値	2	02を設定する(日数情報レコード)	◎	◎	◎		
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3	
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y	
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(フェッ クデジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C	
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C	
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	◎	◎	※C	
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C	
10	サービス開始日等	開始年月日	コード値	8	サービス種類毎の開始年月日(入所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	◎	◎	◎	※Y
11		終了年月日	コード値	8	サービス種類毎の終了年月日(退所年 月日等)(西暦年月日 YYYYMMDD を設 定する)	○	○	○	※Y
12		利用日数	数値	2	サービス種類毎に利用日数を設定する	◎		◎	
13		入院日数	数値	2	サービス種類毎に入院日数を設定する	○	○		
14		外泊日数	数値	2	サービス種類毎に外泊日数を設定する	○	○		
15	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設 定する	◎	◎	◎	※Y	
16	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤 の取下	

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須項目、○: 請求内容により必要、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

③ 明細情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	03を設定する(明細情報レコード)	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェックジット1桁含む)	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	※C
9	サービスコード	コード値	6	サービスコード6桁	◎	※C
10	単位数	数値	6	サービスコードごとの単位数	◎	
11	回数	数値	3	サービスコードごとの回数	◎	
12	サービス単位数	数値	9	サービスコードごとの算定額	◎	
13	摘要	漢字	100	サービスコードごとの摘要	○	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:必須入力 ◎:必須項目、○:請求内容により必要、△:任意設定、空白:不要

なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報（G131）の場合は、出力対象項目と読替え、次の内容とする。

◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

④ 集計情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考		
					J121	J131	J221			
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	◎	※B		
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	◎	※2		
3	レコード種別コード	コード値	2	04を設定する(集計情報レコード)	◎	◎	◎			
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	◎	※3		
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	◎	◎	※Y		
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック デジット1桁含む)	◎	◎	◎	※C		
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	◎	※C		
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	◎	◎	※C		
9	サービス種類コード	コード値	2	サービス種類コード2桁を設定する	◎	◎	◎	※C		
10	請求額集計欄	集計欄 分類番号	コード値	1	同一のサービス種類コードで複数の集計 情報を作成する為の集計欄分類番号を 設定	◎	◎	◎		
11		サービス 利用日数	数値	2	サービス利用日数を設定 本体報酬を算定しない日において、各種 加算のみを算定した場合も1日とカウント する 上限額管理加算、欠席時対応加算等も1 日とカウントする	◎	◎	◎		
12		給付単位数	数値	9	サービス種類コードごと集計欄分類番号 ごとの単位数を設定する	◎	◎	◎		
13		単位数単価	数値	5	整数部2桁小数部3桁の半角数字 8.5 円 の場合、08500(または 8500)を設定する	◎	◎	◎	※Y	
14		給付率	数値	3	給付率を設定する	◎	◎	◎		
15		総費用額	数値	10	サービスの総費用額を設定する	◎	◎	◎		
16		給付率に 基づく	請求額	数値	10	総費用額×給付率/100	◎	◎	◎	
17			利用者 負担額 ②	数値	6	総費用額－給付率に基づく請求額	◎	◎	◎	
18		上限月額調整 (①②の内少 ない数)		数値	6	利用者負担上限月額と給付率に基づく利 用者負担額のうち少ないほうを設定する	◎	◎	◎	
19		A 型 減 免	事業者 減免額	数値	6	A型事業者減免額を設定	○			
20			減免後 利用者 負担額	数値	6	A型減免後の利用者負担額を設定	○			
21	調整後利用者 負担額		数値	6	調整後利用者負担額を設定する	○	○	○		

項番	項目名		属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)			備考
						J121	J131	J221	
22	上限額管理後利用者負担額		数値	6	上限額管理後利用者負担額を設定する	○	○	○	
23	決定利用者負担額		数値	6	算定した結果の利用者負担額を設定する(自治体助成分請求額を控除する前の利用者負担額である)	◎	◎	◎	
24	請求額	給付費	数値	10	給付費の請求額を設定する	◎	◎	◎	
25		高額障害福祉サービス費	数値	10	高額障害福祉サービス費の請求額を設定する			○	
26		特別対策費	数値	10	サービス提供年月が平成21年10月以降は、事業運営安定化および、移行時運営安定化に係る請求額を設定 サービス提供年月が平成21年9月以前は、特別対策費である激変緩和加算に係る請求額を設定	○	○	○	
27		自治体助成分請求額	数値	6	利用者負担額のうち自治体が助成する額を設定する	○	○	○	
28	特定障害者特別給付費	算定日額	数値	4	サービス種類ごとに算定する日額を設定する	○			
29		日数	数値	2	サービス種類ごとに算定する日数を設定する	○			
30		給付費請求額	数値	5	サービス種類ごとに給付費請求額を設定する	○	○		
31		実費算定額	数値	6	サービス種類ごとに実費算定額を設定する	○	○		
32	利用日数管理票	対象期間(開始)	コード値	6	利用日数の特例開始年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
33		対象期間(終了)	コード値	6	利用日数の特例終了年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	○		○	※Y
34		当月の利用日数	数値	2	当月の利用日数	○		○	
35		原則日数の総和	数値	3	対象期間における原則日数の総和を設定する	○		○	
36	受付年月		コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	◎	◎	※Y
37	点検結果		コード値	1	点検結果を設定する	○	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1:必須入力(入力識別番号毎) ◎:必須項目、○:請求内容により必要、△:任意設定、空白:不要
 なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1) 入力識別番号一覧」参照。

※3:整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑤ 契約情報レコード（複数レコード）

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)		備考
					J121	J221	
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	05を設定する(契約情報レコード)	◎	◎	
4	整理番号	コード値	10	整理番号を設定する	◎	◎	※3
5	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMM を設定する)	◎	◎	※Y
6	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェック ジット1桁含む)	◎	◎	※C
7	事業所番号	コード値	10	サービスを提供した事業所番号	◎	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番号	◎	◎	※C
9	決定サービスコード	コード値	6	決定サービスコード6桁を設定する	◎	◎	※C
10	契約支給量	数値	5	整数部上3桁、小数部下2桁を設定する 100.5時間→1005 012日→01200(または1200) 5回→00500(または500)	◎	◎	
11	契約開始年月日	コード値	8	契約を開始した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	◎	◎	※Y
12	契約終了年月日	コード値	8	契約を終了した年月日(西暦年月日 YYYYMMDDを設定する)	○	○	※Y
13	事業者記入欄番号	数値	2	受給者証の事業者記入欄番号を設定する	◎	◎	
14	受付年月	コード値	6	請求受付年月(西暦年月 YYYYMM)を設定	◎	◎	※Y
15	点検結果	コード値	1	点検結果を設定する	○	○	1:正常 2:警告 3:エラー 4:過誤 5:過誤の 取下

※1: 必須入力(入力識別番号毎) ◎: 必須項目、○: 請求内容により必要、△: 任意設定、空白: 不要
 なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
 読替え、次の内容とする。

◎: 出力対象項目、○: 請求内容により出力対象となる項目

△: 事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白: 出力対象外項目

※2: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。

※3: 整理番号は、市町村内で一意となるように設定する。

※B: 「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

※C: 「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y: 「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z: 「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

⑥ 高額費支給レコード

項番	項目名	属性 (※Z)	バイト 数	内容	必須入力 (※1)	備考
1	交換情報識別番号	英数	4	当情報の内容を識別するための番号	◎	※B
2	入力識別番号	英数	4	入力元の交換情報識別番号を設定する	◎	※2
3	レコード種別コード	コード値	2	06を設定する(高額費支給レコード)	◎	
4	給付実績情報 作成区分コード	コード値	1	給付実績情報の作成区分を出力	◎	1:新規 2:修正 3:取消
5	給付実績区分コード	コード値	1	給付実績の区分コードを設定する	◎	1:現物 2:償還
6	サービス提供年月	コード値	6	サービスを提供した年月(西暦年月 YYYYMMを設定する)	◎	※Y
7	市町村番号	コード値	6	受給者証に記載された市町村番号(チェ ックゲジット1桁含む)	◎	※C
8	受給者証番号	英数	10	受給者証に記載されている受給者証番 号	◎	※C
9	受付年月日	コード値	8	受給者からの申請を受け付けた年月日 (西暦年月 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
10	決定年月日	コード値	8	市町村が支給を決定した年月日(西暦 年月 YYYYMMDDを設定する)	◎	※Y
11	利用者負担額	数値	6	受給者が支払った金額を設定する	◎	
12	支給額	数値	6	受給者に支払った金額を設定する	◎	
13	受付年月	コード値	6	高額障害福祉サービス費給付判定結果 情報のコントロールレコードの処理対象 年月(西暦年月 YYYYMM)を設定する	◎	※Y

※1:必須入力(入力識別番号毎) ◎:必須項目、○:請求内容により必要、△:任意設定、空白:不要
なお、障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合は、出力対象項目と
読替え、次の内容とする。

◎:出力対象項目、○:請求内容により出力対象となる項目

△:事業所の設定状況により出力対象となる項目、空白:出力対象外項目

※2:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.3.1(1)入力識別番号一覧」参照。

※B:「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1.2 インタフェース一覧」参照。

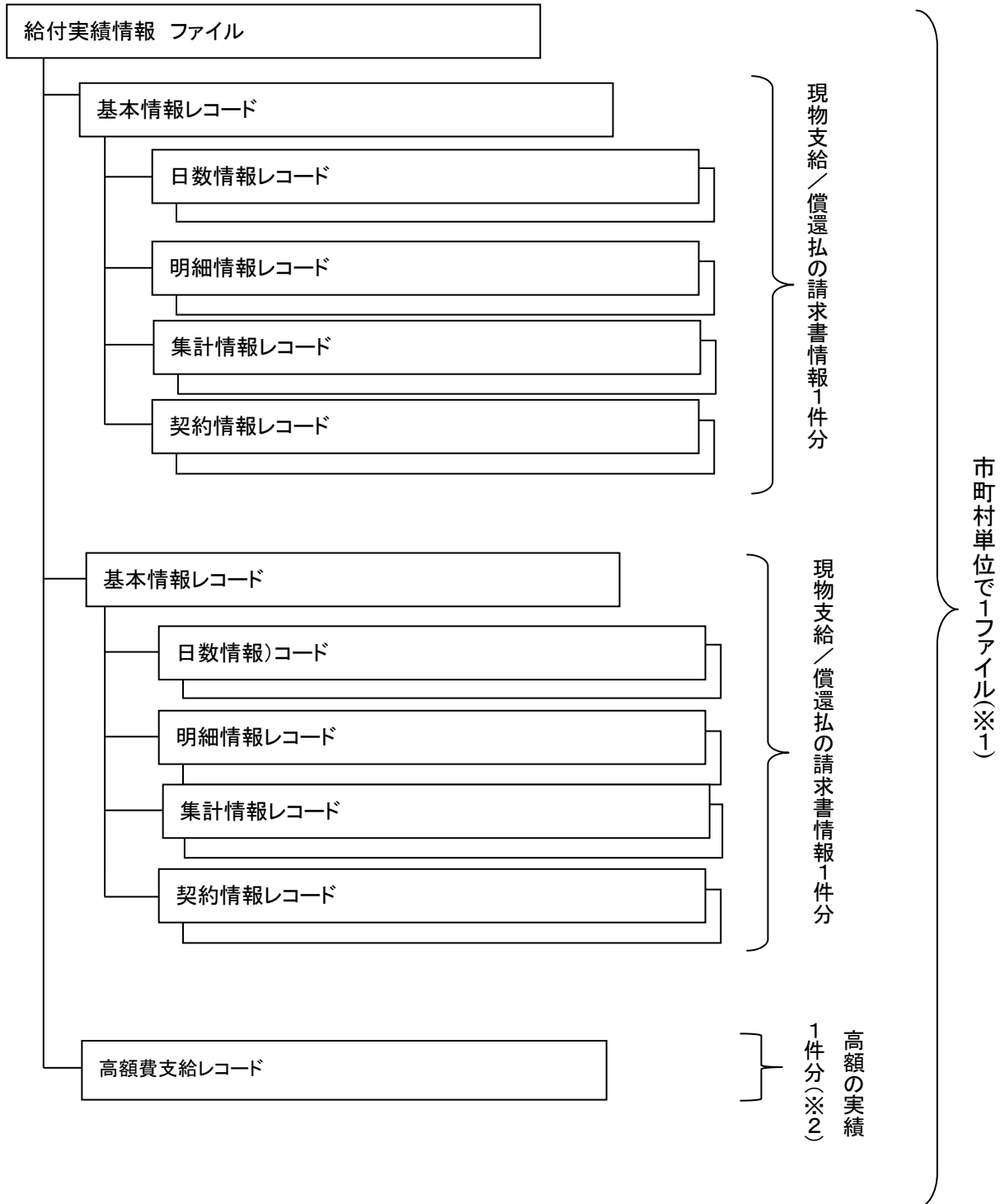
※C:「インタフェース仕様書 共通編 1.4 コード一覧」参照。

※Y:「インタフェース仕様書 共通編 1.5 留意事項」参照。

※Z:「インタフェース仕様書 共通編 1.3 表記法」参照。

給付実績情報 ファイル構成図

レコードの編綴(ファイル内の格納順序)



※1: 政令市で受給者証に記載する市町村番号を行政区毎に分けている場合であっても、政令市単位で1ファイルとする

※2: 同じサービス提供月に複数回高額費の支給(差分)があった場合は、複数のレコードとなる

1. 3. 2 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報取込エラーリスト (G2A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

1. 3. 3 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報チェックエラーリスト (G3A1) (PDF)

PDF出力情報であるため、項目を記載していません

1. 4 給付実績交換の考え方

1. 4. 1 基本的な考え

(1) 給付実績交換情報の種類

交換情報 識別番号	情報名	内容	備考
G111	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績情報 ・月次 ・市町村⇒国保連合会	①国保連合会で行う高額障害福祉サービス費の高額計算に必要な情報(市町村で支払った特例介護給付費・特例訓練等給付費分のみの情報(※))。	・高額障害福祉サービス費の計算を業務委託しない場合は、本情報の提出は不要。
		②既に支払った高額障害福祉サービス費の修正を行うために必要な情報。また、受給者に支払う前的高額障害福祉サービス費の取消を行うために必要な情報。	
G121	障害福祉サービス費 市町村保有給付実績更新 結果情報 ・月次 ・国保連合会⇒市町村	①国保連合会で「G111 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報」を更新した結果を提供する情報。	
G131	障害福祉サービス費 国保連合会保有給付実績 情報 ・依頼時 ・国保連合会⇒市町村	①市町村から提供依頼があった場合に、国保連合会で支払業務を行った給付実績(現物給付分のみ)の情報	・高額障害福祉サービス費の計算を業務委託しない場合は、本情報は作成できない。
		②国保連合会にて保有している高額障害福祉サービス費の情報。	

(※) 国保連合会で行う高額障害福祉サービス費の高額計算に必要な情報(市町村で支払った特例介護給付費・特例訓練等給付費分のみの給付実績情報)は、次のケースを想定している。

- ①基準該当サービスを受領委任契約せず、市町村に請求し、市町村で支払を行うケース
- ②支給決定前にサービスを利用し、償還払いで市町村が支払を行うケース

(2) レコード構成

①障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報(G111)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	高額計算で使用する情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・障害児施設給付については、償還払分は発生しないため、本情報の提出は不要。 ・「整理番号」の設定方法は、介護保険と同様に、市町村内で一意となるように設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	高額 of 修正・取消をする情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・過誤申立書情報を提出し再請求を行った場合、高額障害福祉サービス費についても再計算され、差額分が支払われる。そのため、本情報の提出は不要。

②障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報(G121)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	内容については、①と同様。	
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード		

③障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報(G131)の場合

No	レコード名称	内容	備考
1	基本情報レコード	国保連合会で支払業務を行った給付実績の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・請求支払確定後に提供することが可能。 ・過誤分については、給付実績情報作成区分を「3：取消」で作成。 ・「整理番号」の設定方法は、全て「1」を設定する。
2	日数情報レコード		
3	明細情報レコード		
4	集計情報レコード		
5	契約情報レコード		
6	高額費支給レコード	国保連合会にて保有している高額障害福祉サービス費の情報。	<ul style="list-style-type: none"> ・高額障害福祉サービス費支給処理の支払データ等作成後に提供することが可能。 ・基準該当サービスを受領委任で行う場合の特例介護給付費・特例訓練等給付費の明細書で利用者負担上限額を超過した分を高額障害福祉サービス費に振り替えている分については、本レコードでは提供せず、基本情報・集計情報レコードの「高額障害福祉サービス費」にて提供する。

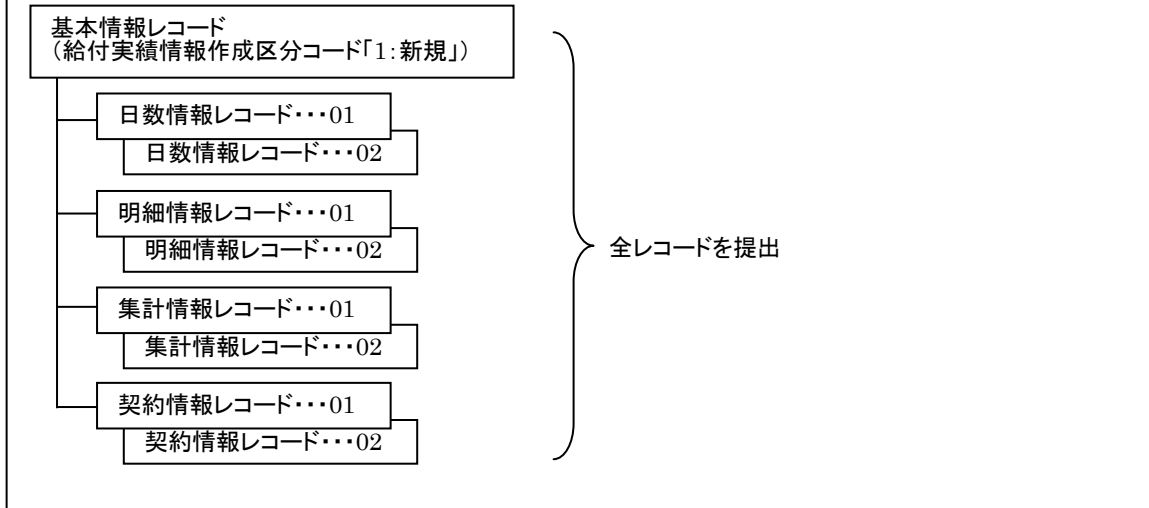
1. 4. 2 レコード作成方法

(1) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報(G111)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

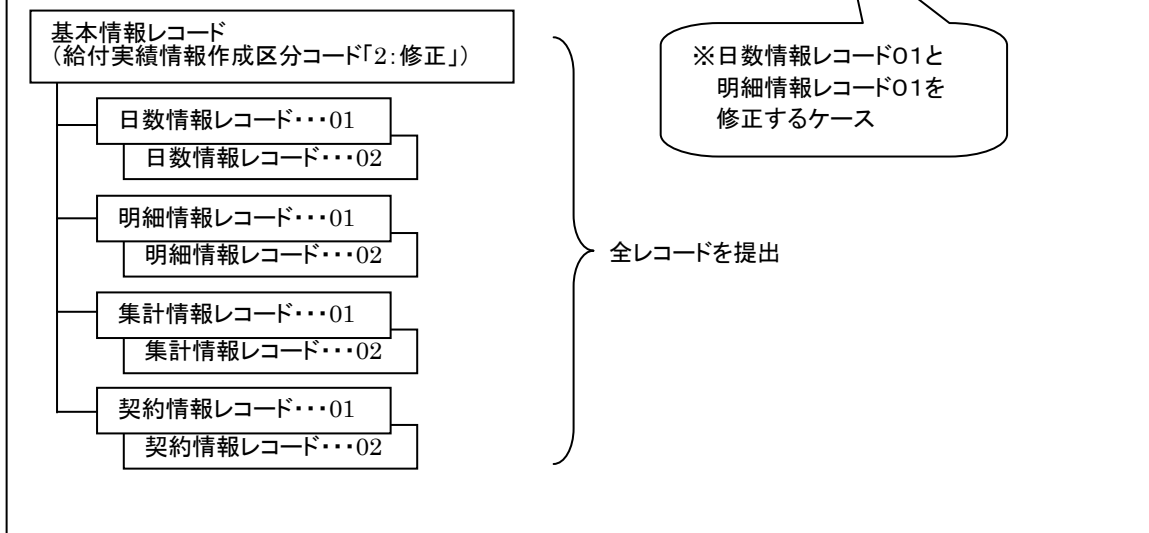
- ・新規に市町村保有給付実績情報を提出する場合

⇒給付実績情報作成区分コード「1：新規」を設定し、全レコードを提出する。

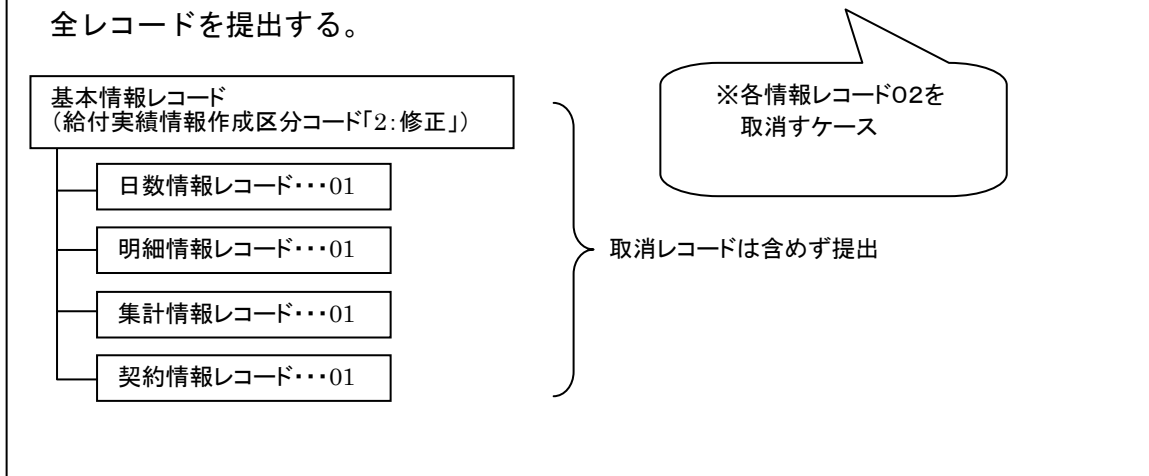


- ・提出した市町村保有給付実績情報の修正を提出する場合（一部のレコード修正）

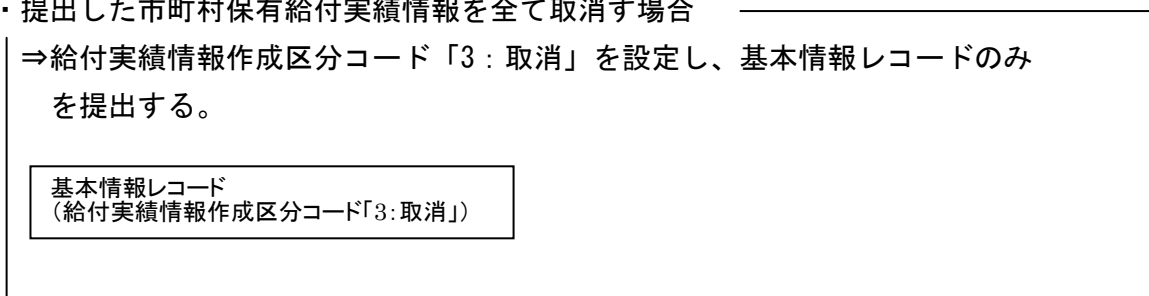
⇒給付実績情報作成区分コード「2：修正」を設定し、修正レコードも含め全レコードを提出する。



- ・ 提出した市町村保有給付実績情報を一部のレコード取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「2：修正」を設定し、取消レコードを含めず全レコードを提出する。



- ・ 提出した市町村保有給付実績情報を全て取消する場合
⇒ 給付実績情報作成区分コード「3：取消」を設定し、基本情報レコードのみを提出する。



注) 同一キー（証記載市町村番号・受給者証番号・サービス提供年月・事業所番号）の給付実績の取消を行い、新規で再度登録する場合は、同一ファイルに取消データと新規データを作成してはならない（給付実績更新結果情報を受理後、新規データを作成する）。

②高額費支給レコード

- ・ 給付実績情報を「1:新規」で提出することはできない。
- ・ 高額費支給レコードのみでも作成することができる。

(2) 障害福祉サービス費市町村保有給付実績更新結果情報 (G121)

本情報は、「インタフェース仕様書 市町村編 IV. 給付実績交換業務 1. 4. 2(1)障害福祉サービス費市町村保有給付実績情報」を国保連合会で更新した結果のレコードとなる。

(3) 障害福祉サービス費国保連合会保有給付実績情報 (G131)

①基本情報・日数情報・明細情報・集計情報・契約情報レコード

- ・出力依頼の受付年月（請求受付年月）に該当する給付実績情報の全レコードを市町村に提供する。また、同月請求に対する過誤申立による取下げのデータは別ファイルで作成する。

②高額費支給レコード

- ・高額障害福祉サービス費給付判定結果情報のコントロールレコードの処理対象年月に該当する高額障害福祉サービス費の給付実績情報を市町村に提供する。